

曜時	情報学専攻(J)				情報・ネットワーク工学専攻(I)				機械知能システム学専攻(M)			基盤理工学専攻(S)				
	メディア情報学	経営・社会情報学	セキュリティ情報学	デザイン思考・データサイエンス	情報数理工学	コンピュータサイエンス	情報通信工学	電子情報学	計測・制御システム	先端ロボティクス	機械システム	電子工学	光工学	物理学	化学生命工学	
月	1							Aa データ解析最適化論 劉 ★	Cb 運動計測学特論 安藤(創) ★							
	2	Cc コミュニケーション論特論 大河原			Cc コミュニケーション論特論 大河原		Cc シミュレーション理工学基礎論 仲谷			Bb メカトロニクス特論 金森・東郷			Cb 応用電磁気学 中川・白川(晃)			
	3		Cc 人間工学特論 水戸				Cb 基盤ソフトウェア特論 小宮 Bb 連続最適化基礎論 村松・中山(舜) ★			Bb ロボット応用工学特論 内田(雅)・田中(基)				Ca X線結晶学特論 安井		
	4		Bc 生産システム特論※ ○宮内			Cc アルゴリズム特論 中鹿		Cc センシング工学特論 高橋(弘)			Ca ロボット機構制御特論 田中(一)・横井	Ba 計算物理学特論 大淵		Ba 計算物理学特論 大淵		
	5	Bc 画像認識システム特論 柳井	Bc 生産システム特論※ ○宮内		Bc 画像認識システム特論 柳井		Bc 画像認識システム特論 柳井	Ca CMOS集積回路設計学特論 範								
火	1	Ca 視覚情報処理特論 高橋(裕) ★		Ca 視覚情報処理特論 高橋(裕) ★						Bb 知的生産システム特論 森重					Bb 物理化学特論 山北	
	2	Ca マルチメディアコンピューティング特論 江木		Ca マルチメディアコンピューティング特論 江木		Cc 離散最適化基礎論 岡本		Ca 情報光学特論 武者		Bb 設計システム工学特論 増田・結城		Ca 情報光学特論 武者		Cb ゲノム生物学特論 三瓶		
	3	Cc システム設計特論 1 大須賀		Ca コンピュータネットワーク特論 大坐島		Bb 計算機ネットワーク特論 吉永	Cb 応用アルゴリズム論 小林(聡) Cc 並列分散システム特論(非) 鈴木 西10-111		Cc 生体電磁工学特論 木寺				Ca 量子エネルギー科学 小林(義)			
	4	Cc 知能ロボティクス特論 工藤		Ba 離散情報構造特論 石上	Cc 知能ロボティクス特論 工藤	Cc シミュレーション理工学特論 龍野・山崎	Cb 情報ネットワーク特論 湯		Bb 電磁波環境観測技術特論 芳原		Cb ナノライポロジー特論 佐々木		Cb ナノライポロジー特論 佐々木	Cb 生体機能システム学基礎 狩野・星野		
	5	Ba 計算機科学特論 未定		Ba 計算機科学特論 未定		Cc IT最前線 工藤・野嶋		Cc 解析学特論 齋藤(平)			Cb 国際社会の政治・経済 ○宮地					
水	1														Cb 科学技術の歴史 佐藤(賢)	
	2	Cc 対話型システム特論 広田	Bc 時空間情報科学特論 山本(佳) Cc ゲーム理論 岩崎(敦)		Bb 暗号理論特論 岩本		Ba 音声対話処理 南	Bb 情報幾何学特論 鈴木(淳)		Ca ロボット情報工学特論 船戸・仲田		Bb 先端半導体デバイス基礎 一色		Cb 有機物化学特論 加固		
	3														Cc ベンチャービジネス特論 高木	
	4							Cc 知的財産権特論 本間	Cc 日本語と思考 栗田						Cb 実システム創造 橋山・田原・小宮 Cc 教育学特論 武石	
	5														Cb 先端技術開発特論 島田 Cc 現代代数学 榎本 Cc 世界の多極化と異文化理解 中橋・金沢・小野・○福島・○金	
木	1							Aa データ解析最適化論 劉 ★	Cb 運動計測学特論 安藤(創) ★	Bb 力学系現象特論 Matuttis・守	Bb 超伝導デバイス特論 島田					
	2	Cc システム設計特論3 清				Cb 統計的機械学習特論 西山・宇都	Cb ネットワークアプリケーション特論 矢崎	Cb 情報理論特論 大濱		Bb パーチャルリアリティ特論 杉			Cb 統計物理学特論 尾関			
	3			Bc 情報理論基礎 山口(和)						Bb ロバスト制御工学特論 金子						
	4		Cc 生体システム工学特論 板倉			Bb 連続最適化基礎論 村松 ★		Cb 回路システム基礎 西(一)・小島		Cc センサ信号処理学特論 秋田			Bb 実践的先進機器分析 石田(尚)・平野・安井・桑原・白川(英)・中村(仁)・島田			
	5	Bb メディアアート論 児玉			Bb メディアアート論 児玉					Cb 生体計測工学特論 小池・正本						
金	1	Ca 視覚情報処理特論 高橋(裕) ★		Ca 視覚情報処理特論 高橋(裕) ★												
	2	Bb インテリジェントシステム特論 橋山			Bb インテリジェントシステム特論 橋山						Bb 計算力学特論 千葉・守	Aa 凝縮体量子工学特論 斎藤(弘)・岸本	Bb 固体物性化学特論 石田(尚)・平田			
	3			Cb ソフトウェアセキュリティ特論 市野		Cc 応用解析学特論 緒方	Cb ヒューマンインタフェース特論 藤田		Cb ヒューマンインタフェース特論 藤田	Cc コンピュータビジョン特論 中村(友)			Cb 光通信デバイス特論 上野			
	4			Cc 数理統計学基礎 天野		Cb 並列処理論第二 三輪		Bb 光通信システム特論 來住		Ba 経路制御システム学特論 澤田			Bb 光通信システム特論 來住	Cb 電子物性特論 中村(仁)・松林		
	5							Ab 国際科学技術コミュニケーション論 高橋(裕)・松浦							Cb 幾何学特論 丸亀	

土曜
Cc J実践ソフトウェア開発概論Ⅲ 原田

土曜 3~5限
データアントレプレナー実践論 原田 (10-11月)

土曜 3~5限
データサイエンティスト特論 原田 (12-2月)

未定・休講・調整中の科目
Cc 代数学特論(J 現代代数学との隔年開講)
Cc J ソフトウェア品質学
J数理解析学(解析学特論との隔年開講)
Bb 機械情報学特論

通年科目
Cb ETL
Cb 危機・限界体験特別実験 月5時限

曜日時限が指定のないオンデマンド授業
Cc 大学院総合コミュニケーション科学 村松(正)
Ba I 宇宙通信工学特論 細川

授業時間	
第1時限	9:00 ~ 10:30
第2時限	10:40 ~ 12:10
第3時限	13:00 ~ 14:30
第4時限	14:40 ~ 16:10
第5時限	16:15 ~ 17:45

対面授業【着色なし】
詳細はシラバス参照

※「生産システム特論」は隔週開講となるため、詳細はシラバス参照のこと。

遠隔授業(ハイブリッド含む)
詳細はシラバス参照

昼夜共通開講科目(情報・ネットワーク工学専攻)

火曜6限 Ba 知能情報特論 沼尾

注1)科目名の先頭の英字は以下で講義する科目の種別を示します。

Aa,Ab:日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義
Ac,Ba,Bb,Bc,Ca,Cb:英語のみでの大学院講義の理解が難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義
Cc:英語で行う講義には含まない。

注2)教員名の前の○印は非常勤講師であることを示します。

注3)授業科目名の文字の大きさは、授業内容と一切関係ありません。

注4)授業科目名に★が付いているものは、秋タームに週2回開講する科目です。

曜時	情報学専攻(J)				情報・ネットワーク工学専攻(I)				機械知能システム学専攻(M)			基盤理工学専攻(S)				
	メディア情報学	経営・社会情報学	セキュリティ情報学	デザイン思考・データサイエンス	情報数理工学	コンピュータサイエンス	情報通信工学	電子情報学	計測・制御システム	先端ロボティクス	機械システム	電子工学	光工学	物理学	化学生命工学	
月	1															
	2	Cc コミュニケーション論特論 大河原			Cc コミュニケーション論特論 大河原	Cc シミュレーション理工学基礎論 仲谷				Bb メカトロニクス特論 金森・東郷			Cb 応用電磁気学 中川・白川(晃)			
	3		Cc 人間工学特論 水戸			Cb 基盤ソフトウェア特論 小宮				Bb ロボット応用工学特論 内田(雅)・田中(基)			Ca X線結晶学特論 安井			
	4		Bc 生産システム特論※ ○宮内			Cc アルゴリズム特論 西8-132 中鹿	Cc センシング工学特論 高橋(弘)			Ca ロボット機構制御特論 田中(一)・横井		Ba 計算物理学特論 大淵		Ba 計算物理学特論 大淵		
	5	Bc 画像認識システム特論 柳井	Bc 生産システム特論※ ○宮内		Bc 画像認識システム特論 柳井	Bc 画像認識システム特論 柳井	Ca CMOS集積回路設計学特論 範					Bb 集積回路設計学特論 範				
火	1									Bb 知的生産システム特論 森重				Bb 物理化学特論 山北		
	2	Ca マルチメディアコンピューティング特論 江木		Ca マルチメディアコンピューティング特論 江木		Cc 離散最適化基礎論 岡本 Ca マルチメディアコンピューティング特論 江木	Ca 情報光学特論 武者			Bb 設計システム工学特論 増田・結城		Ca 情報光学特論 武者		Cb ゲノム生物学特論 三瓶		
	3	Cc システム設計特論 1 大須賀		Ca コンピュータネットワーク特論 大坐島		Bb 計算機ネットワーク特論 吉永 Cb 応用アルゴリズム論 小林(聡) Cc 並列分散システム特論 (非)鈴木	Cc 生体電磁工学特論 木寺					Ca 量子エネルギー科学 小林(義)				
	4	Cc 知能ロボティクス特論 工藤		Ba 離散情報構造特論 石上	Cc 知能ロボティクス特論 工藤	Cc シミュレーション理工学特論 龍野・山崎	Cb 情報ネットワーク特論 湯	Bb 電磁波環境観測技術特論 芳原		Cb ナノライポロジー特論 佐々木		Cb ナノライポロジー特論 佐々木		Cb 生体機能システム学基礎 狩野・星野		
	5	Ba 計算機科学特論 未定		Ba 計算機科学特論 未定		Cc IT最前線 工藤・野嶋						Cb 国際社会の政治・経済 ○宮地				
水	1															
	2	Cc 対話型システム特論 広田	Bc 時空間情報科学特論 山本(佳) Cc ゲーム理論 岩崎(敦)		Bb 暗号理論特論 岩本 Cc 対話型システム特論 広田		Ba 音声対話処理 南	Bb 情報幾何学特論 鈴木(淳)		Ca ロボット情報工学特論 船戸・仲田		Bb 先端半導体デバイス基礎 一色		Cb 無機物質化学特論 加固		
	3															
	4															
	5															
木	1															
	2	Cc システム設計特論3 清				Cb 統計的機械学習特論 西山・宇都	Cb ネットワークアプリケーション特論 矢崎	Cb 情報理論特論 大濱		Bb バーチャリアリティ特論 杉				Cc 統計物理学特論 尾関		
	3			Bc 情報理論基礎 山口(和)						Bb ロボット制御工学特論 金子						
	4		Cc 生体システム工学特論 板倉							Cc センサ信号処理学特論 秋田				Bb 実践的先進機器分析 石田(尚)・平野・安井・桑原・白川(英)・中村(仁)・島田		
	5	Bb メディアアート論 児玉			Bb メディアアート論 児玉					Cb 回路システム基礎 西(一)・小島						
金	1															
	2	Bb インテリジェントシステム特論 橋山			Bb インテリジェントシステム特論 橋山							Bb 計算力学特論 千葉・守		Aa 凝縮体量子工学特論 斎藤(弘)・岸本	Bb 固体物性化学特論 石田(尚)・平田	
	3			Cb ソフトウェアセキュリティ特論 市野	Cc 応用解析学特論 緒方 Cb ソフトウェアセキュリティ特論 市野	Cb ヒューマンインタフェース特論 藤田		Cb ヒューマンインタフェース特論 藤田		Cc コンピュータビジョン特論 中村(友)			Cb 光通信デバイス特論 上野			
	4			Cc 数理統計学基礎 天野		Cb 並列処理論第二 三輪		Bb 光通信システム特論 來往		Ba 組み込み制御システム学特論 澤田			Bb 光通信システム特論 來往	Cb 電子物性特論 中村(仁)・松林		
	5															

土曜
Cc J実践ソフトウェア開発概論Ⅲ
原田

土曜 3~5限
データアントレプレナー実践論 原田
(10-11月)

土曜 3~5限
データサイエンティスト特論 原田
(12-2月)

未定・休講・調整中の科目
Cc 代数学特論(J現代代数学との隔年開講)
Cc Jソフトウェア品質学
J数理解析学(解析学特論との隔年開講)
Bb 機械情報学特論

通年科目
Cb ETL
Cb 危機・限界体験特別実験 月5時限

曜日時限が指定のないオンデマンド授業
Cc 大学院総合コミュニケーション科学 村松(正)
Ba I 宇宙通信工学特論 細川

授業時間	
第1時限	9:00 ~10:30
第2時限	10:40 ~12:10
第3時限	13:00 ~14:30
第4時限	14:40 ~16:10
第5時限	16:15 ~17:45

対面授業【着色なし】
詳細はシラバス参照

※「生産システム特論」は隔週開講となるため、詳細はシラバス参照のこと。

遠隔授業
詳細はシラバス参照

昼夜共通開講科目(情報・ネットワーク工学専攻)

火曜6限 Ba 知能情報特論 沼尾

注1)科目名の先頭の英字は以下で講義する科目の種別を示します。

Aa,Ab:日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義
Ac,Ba,Bb,Bc,Ca,Cb:英語のみでの大学院講義の理解は難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義
Cc:英語で行う講義には含まない。

注2)教員名の前の○印は非常勤講師であることを示します。

注3)授業科目名の文字の大きさは、授業内容と一切関係ありません。

注4)授業科目名に★が付いているものは、冬タームに週2回開講する科目です。

英語で行う大学院講義の分類表改訂版

		説 明 言 語		
		A:英語のみ	日本語	
			B:英語と日本語を併用する	C:日本語のみ
資 料 言 語	a:英語のみ	Aa :英語で説明し、 英語の教材・資料を使う。	Ba :英語と日本語を併用して説明し、 英語の教材・資料を使う。	Ca :日本語で説明し、 英語の教材・資料を使う。
	b:英語と日本語を 併用する	Ab :英語で説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	Bb :英語と日本語を併用して説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	Cb :日本語で説明し、 英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。
	c:日本語のみ	Ac :英語で説明し、 日本語の教材・資料を使う。	Bc :英語と日本語を併用して説明し、 日本語の教材・資料を使う。	Cc :日本語で説明し、 日本語の教材・資料を使う。

※教材・資料には、板書を含む。

○英語で行う講義タイプ

緑: 日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義(英語で行う講義 旧タイプⅠ)

橙: 英語のみでの大学院講義の理解は難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義(英語で行う講義旧タイプⅡ)

黄: 英語で行う講義には含まない。

★ 説明言語について

- A. 講義は全て英語で行う。
- B. 基本的に日本語で講義を行うが、部分的に英語を使用し、専門用語などで英語による表現等を学ばせ、日本人学生の専門的な英語力向上を図るもの。
また、日本語の理解に不安が見られる留学生がいる場合、英語による説明を行うもの。
- C. 講義は日本語のみで行う。

★ 資料言語について

- a. 講義で使用する教材・資料は全て英語で行う。
- b. 講義で使用する教材・資料の内、全体の半分程度またはそれ以上で、英語により書かれた教材・資料を使用し、日本人学生の専門的な英語力向上を図るもの。
また、日本語の理解に不安が見られる留学生がいる場合、英語の資料を提供するもの。
- c. 講義で使用する教材・資料は、全て日本語で行う。